

# 道徳通信

～第5号～

T S U N A G I

主体的・対話的で深い学び～考え議論する道徳～

体験活動を基に、よりよい生き方を探る道徳

日付・学年 10月9日(水) 5年2組&4年1組

## 内容

道徳通信、第5号です。今回は、私と坂田先生が夏休みから先生方と練ってきた授業を行いました。私は緊張のあまり当日は朝4時に起床(笑)、平然を装っていましたが、事後研で米良先生から「今日、いつもより緊張していたでしょ?」と突っ込まれ、タジタジ…坂田先生は、この1年半の研究を引っ張ってきて、発表会当日は自身もチョークを握られます。これまでの事前授業の授業者へのアドバイスだけでなく、普段、若手教師の相談を快く聞いてくれるとても尊敬できる先輩です。以下、授業での気づきをまとめました。お時間あれば、ご一読ください。

### 今回の学び

## 表情絵を使った実践 ～坂田先生の悩みぬいた展開部分の構成から～

今回、授業を見せて下さった先生

坂田 久宜 先生

【こんな工夫がありました】

- ・津奈木メーターを使った授業実践
- ・表情絵を活用した意見交流
- ・道徳的価値を実感する動画～最上級生になる子どもたちへ～



## 【坂田先生の展開部分の構成の工夫】

### ① 津奈木メーターの活用

数ヶ月前から試作と改良を重ねてきた「津奈木メーター」。今回の授業でも展開場面で活躍しました。「津奈木メーター」とは、目には見えない心を可視化したり、子どもの自己選択と自己決定を手助けしたりする ICT 便利グッズです。4種類の思考ツールが入っており、以下に詳細を記載しています。

### ② 表情絵の活用

「新聞を読んだ人(働きを受け取った側の人)は、どんな表情だったと思うか?」という発問に対して、考えを表情に描き表します。その後、共同閲覧モードで友だちが描いた表情を確認し、なぜその表情をしているのか質問したい友だちを選んで意見交流することで、「必然性のある交流場面」が生まれていました。表情から気持ちを想像する学習活動は、子どもの素直な気持ちが表れる素敵な表現の手法で、どの表情からも、働く人への感謝が伝わってきました。



### ③ 道徳的価値を実感する動画 ～最上級生になる子どもたちへ～

5年生は、来年度、最上級生になり、津奈木小を引っ張っていく存在です。そんな5年生が「ひとのために積極的に働き、学校を引っ張っていきたい。」と感じられるような授業にしたい、という坂田先生の思いが動画からひしひしと伝わってきました。



# 今回の授業で活用した、津奈木メーターについて

【津奈木メーターに入っている思考ツール4種】

～津奈木メーターには、何が入っているの？ どうやって使うの？～

## ①心情メーター（ハート図）

気持ちの度合いを可視化！



### 【発問例】

「～さんが登場人物は、嬉しかったんじゃないかって言っていたよね？どれくらい嬉しかったと思う？」

## ②心情スケール

気持ちの度合いや立場を自己決定！



### 【発問例】

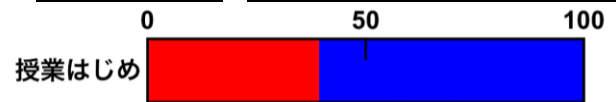
「おじいさんがしたことは、おせっかいだと思いますか？それとも、親切だと思いますか？」

しばらく考えましたが適切な例が浮かばず…授業で座標軸を活用される際は、どんな2軸を置くのがキーポイントになりそうです。

## ③心情スケール（2本 Ver.）

2つの事象を比較！

（前後の変容・登場人物2人の気持ち）



### 【活用例】

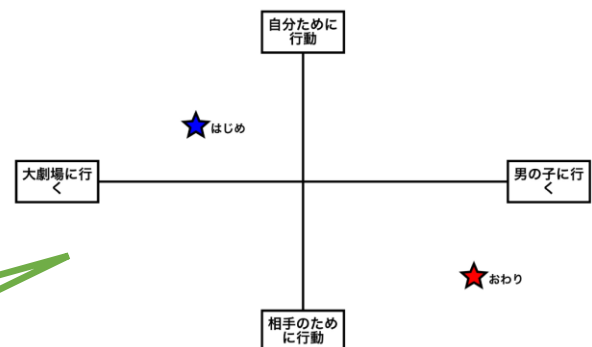
「今のあなたは、どれくらい自分の町のことを好きですか？」

授業前後での比較⇒授業者の評価・振り返りでの活用

## ④座標軸

2つの軸で自己決定！

授業での変容の見取り！



【発問例】～教材「手品師」なら～  
「あなたが手品師だったら、座標軸のどの考えを大切にしてくださいか？」

これまでに多くの先生方の力をお借りして、事前授業を迎えました。あ～でもないかな、こ～

でもないかな、と修正を繰り返してきました。1つ山を越えましたが、本番に向けて新たな宿題 授業づくり部

も出ました。表情絵で気持ちを表すと(99)こんな感じです。あと1ヶ月、よろしくお願いします。